

私は、今臨時会に付議されました「議案第一号 大船渡市・陸前高田市合併協議会を設置することの協議について」に賛成の立場から討論をいたします。

この議案は、市内の有志の方々が1500名を越える署名とともに、住民の権利として法に基づき直接請求されたものです。その熱意と陸前高田市の今後を考える行動に、市政に参画するもののひとりとして真摯に応えなければならないと考えます。

これまでの議会において、私は市町村合併のあり方について中里市長と議論を交えてきたところです。その中で、合併がかかえる問題点、合併による効果等をお互いにその考えを披瀝してきたところです。私は、かねてから「合併は全ての行政課題を解決できる魔法の杖ではない。道具として考えるものである。」との考え方を示してきたところです。本市を取り巻く社会経済状況は大きく変化をしています。少子高齢化の急速な進展、雇用の場がないことから若者の流出に歯止めがかからず、このことがさらに少子高齢化を、人口減少を推し進めています。議会でも何度か紹介されましたが、新成人へのアンケートでは「陸前高田市に住みたい。帰ってきたい。」と望んでいる割合が65%を超えている現状に対し、有効な手立てを打てないでいるのが今の陸前高田市です。

陸前高田市が独自で、行政課題を解決できればそれにこしたことはありません。行政課題にプライオリティを付けて解決に向け努力していることも承知をしておりますが、この地域を維持発展させ、地域社会として継続させるための課題解決がなされていないのも現状と感じているところです。この、課題解決へ向けた一つの方策が法定協議会による情報公開と議論ではないでしょうか。

本市固有の資源を、そして大船渡市固有の資源をお互いに披瀝しあつて、補完をし、より価値を高め効果的に活用することを実施する時期であると感じているところです。

法定協議会は、合併の是非を含め検討・協議を行う場であるとされています。住民、行政、そして議会の代表者がひとつのテーブルの上で、この地域のまちづくりを考える場として活用できるものと考えます。また、様々な角度からこの地域を見つめ直し、再発見できる大き

なチャンスの場合であるとも考えます。

中里市長は「当面は自立」、「合併は避けて通れない。」との発言を議会、そして市政懇談会等で行われてきました。避けては通れない時期まで待つのではなく、課題解決に向け歩みを進めるべきではないでしょうか。法定協議会もまた、そのひとつの方法であると考えます。

現状を鑑み、法定協議会が、本市が抱える課題解決へ向けた大きな手法とチャンスと考えることから、「議案第一号大船渡市・陸前高田市合併協議会を設置することの協議について」に対し賛成をいたします。

議員各位のご理解とご賛同をお願いし討論いたします。